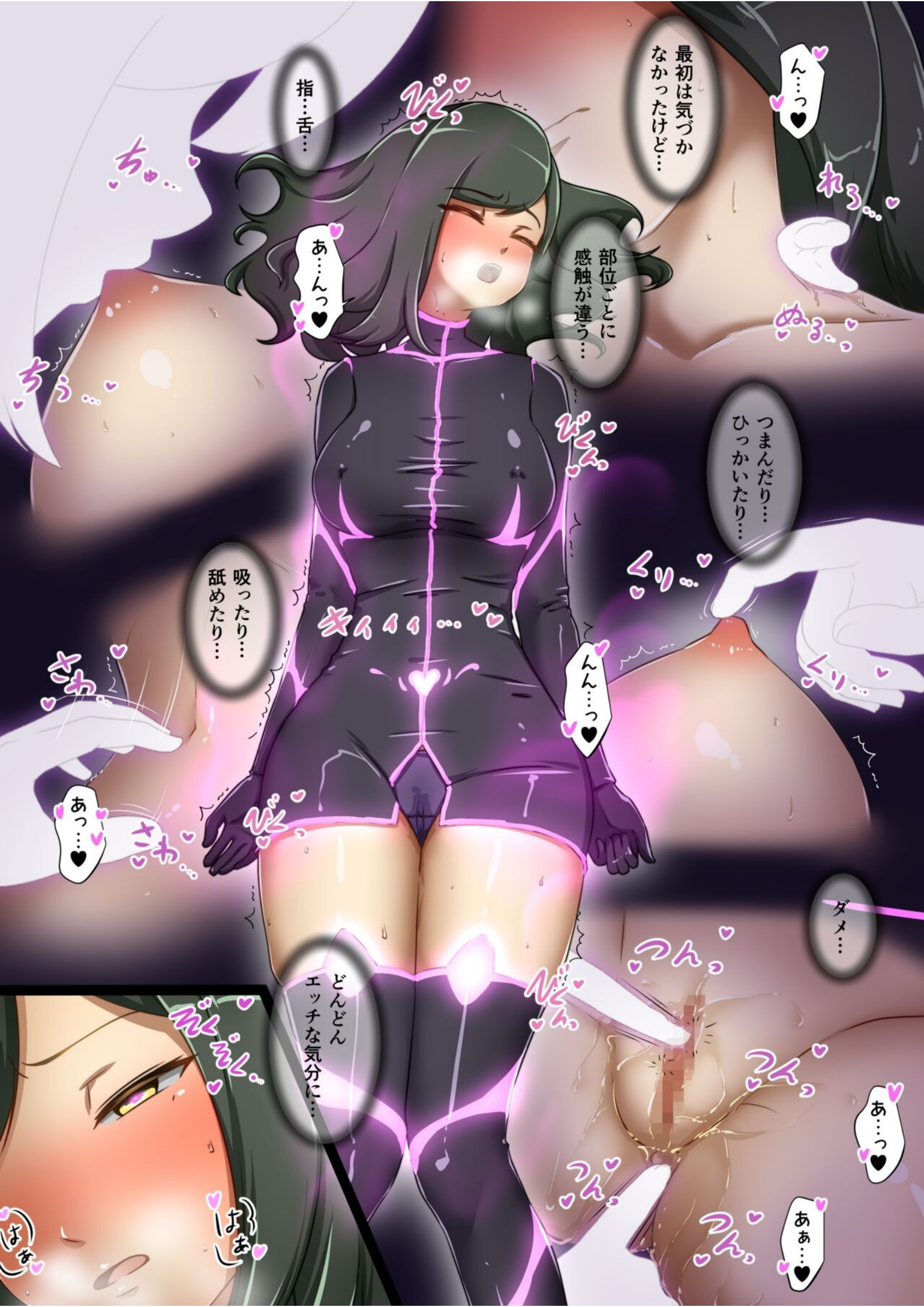

うちの子がえっちな敵と
戦って敗北する話
～十色 vs カディラ後編～
でゅう
本編63ページ


著者：でゅう
Pixiv https://www.pixiv.net/users/4551123
Twitter @yamade_yu
DLsite・FANZAにて
複数商品販売中
無断転載・複製・WEBへのアップロード
は厳禁です。
18歳未満の購入・閲覧を禁じます。


…とりあえず
無事に帰還できた
パターン…
ぷーっ
カディラの能力で
変化させられた
このコスチューム
効果は微弱だけど
催淫魔法と…
キィィ…
服の中に何か
這い回る感覚
がする
むず…
むずむず…
変身は解除
できないし
服が身体に
ピッタリ貼り付いて
脱ぐこともできない
じわじわと
発情させて
欲求不満状態に
させる気ね…

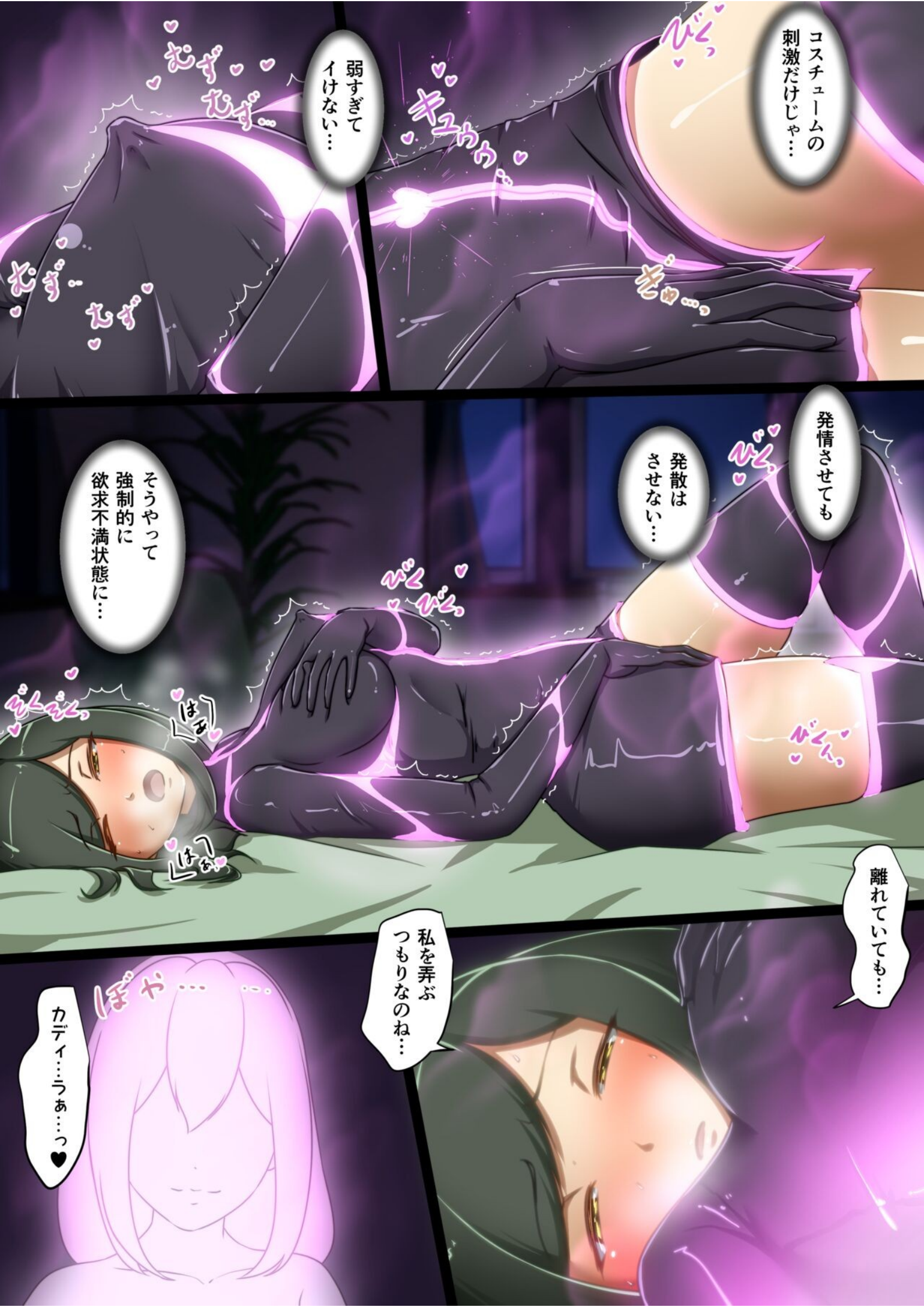

みんなの力を借りたいけど…
十色ちゃんが来るまでここでおとなしく待っているわ…
でも…二人きりの時間を邪魔する者には容赦しないからね…
私一人でなんとかしなきゃ
ぎゅ…
とはいえ状況は悪くない…
確実にカディラと遭遇出来て一対一で戦える
カディラを倒すチャンスだ
普通の状態で戦えば絶対に負けない…
ばふっ…
早く休んで体力を回復して
コスチュームの効果で欲求不満状態になる前に
再挑戦しよう…


…甘く見てた…
はぁ…
はぁ…
…効果は微弱でも
むず…
むずむず…
キィィ…
むず…
長時間続くと
バカにならない…
それに…
暗い静かな部屋
びくっ
あ…♥
ベッドの上で
横になっていると…
びくんっ
は…♥
這いまわる感覚に
嫌でも意識が
向いちゃう…
ぞくぞく…
んん…っ
むずむず
むずむず…


ん…っ♥
れろ…
最初は気づかなかったけど…
指…舌…
ぴく
ちゅ…
あ…んっ♥
部位ごとに感触が違う…
ぬる…っ
ちう…
つまんだり…ひっかいたり…
ぴくっ
クリ…
キィィ…
吸ったり…舐めたり…
さわ…
んん…っ♥
クリ…
あっ…♥
さわ…
ぴく
ダメ…
つんっ
どんどんエッチな気分に…
ぞくぞく…
はぁ
はぁ
あ…っ♥
あぁ…♥

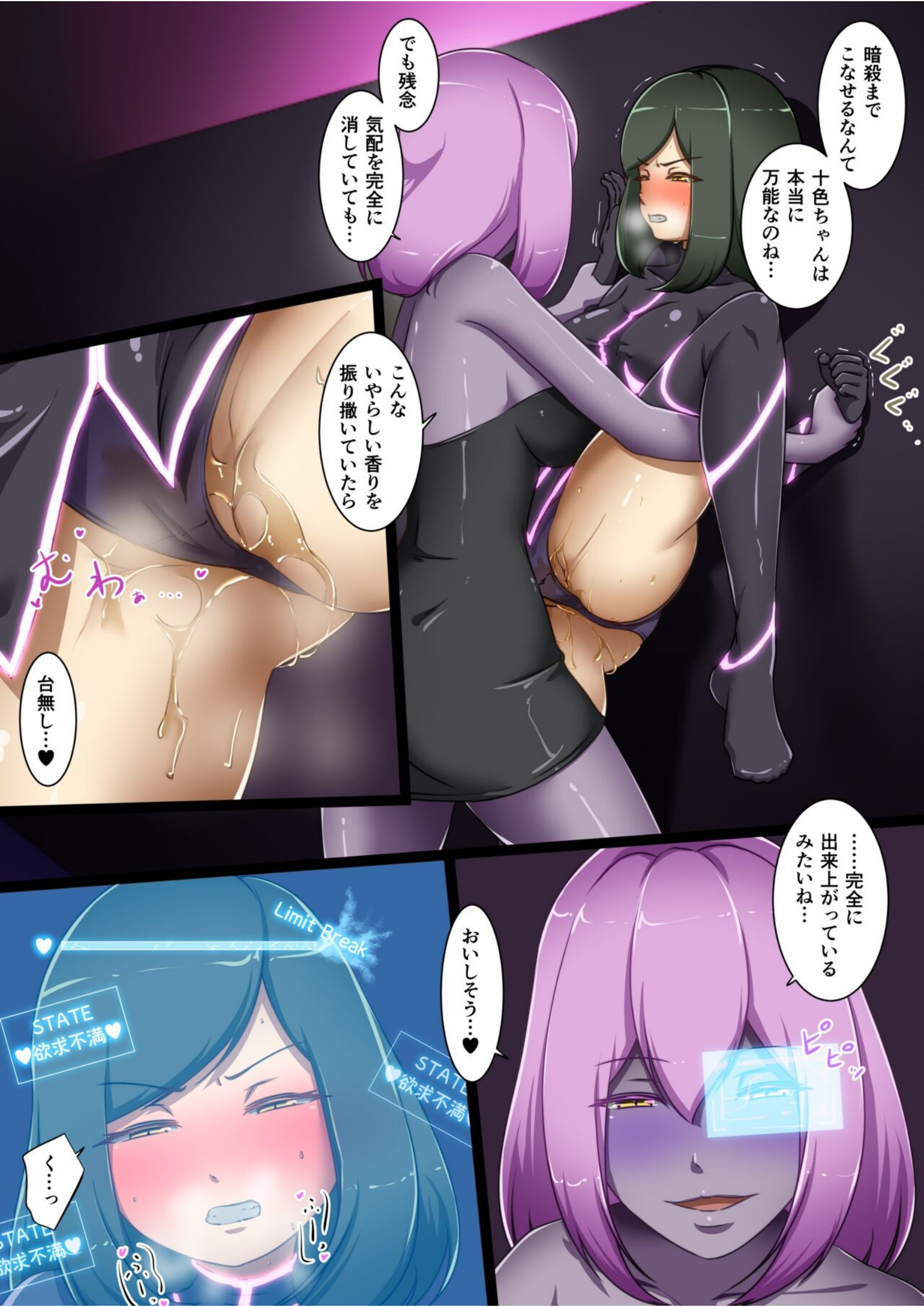

…って
ぱっ
そっか
自分で処理すればいいんだ
多少体力を消耗しても…
する…
今の状態で戦うよりはマシ…
カディラにそう仕向けられている気がして癪だけど…
くち…
…え？

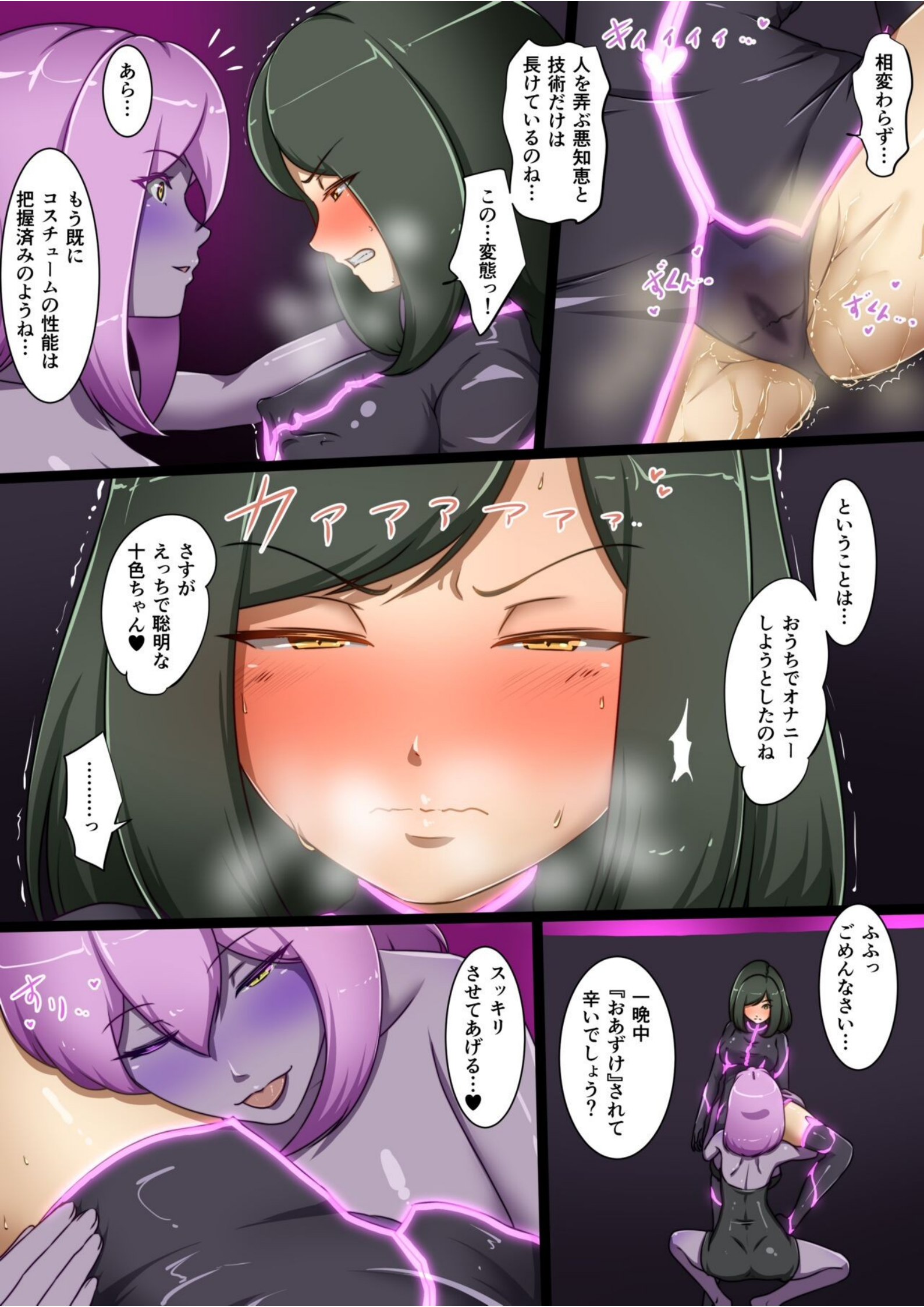

触っている
感触はあるのに…
？
っ!?
気持ちよく
ならない…
くりくり
くり
くにゅ
くちゅ
くちゅ
まさか
このコスチューム…
性感だけを
遮断する効果が…!?
信じられ
ないけど…
カディラの
能力なら…ありえる
……っ


コスチュームの刺激だけじゃ…
弱すぎてイけない…
発情させても
発散はさせない…
そうやって強制的に欲求不満状態に…
離れていても…
私を弄ぶつもりなのね…
カディ…ラぁ…っ♥


今頃…
思い通りに事が進んで…
ほくそ笑んでいるんだろうけど…
このままやられっぱなしじゃ終われない…っ！
絶対にこの状況を覆してやる…！


ふぅ…
急ごしらえではあるけど…
少しは雰囲気のある部屋になったかしら…？。
私…こういうセンスはないのよね…
まぁ…
ベッドさえあれば十分…
すぅ…
っ！
いらっしゃい…
十色ちゃん
しゅうう…
ぐぐっ
あっ
ん


暗殺まで
こなせるなんて
十色ちゃんは
本当に
万能なのね…
でも残念
気配を完全に
消していても…
こんな
いやらしい香りを
振り撒いていたら
むわぁ…
台無し…♥
ビビビ…
……完全に
出来上がっている
みたいね…
ピピッ
おいしそう…♥
Limit Break
STATE
♥欲求不満♥
STATE
♥欲求不満♥
く…っ
STATE
♥欲求不満♥

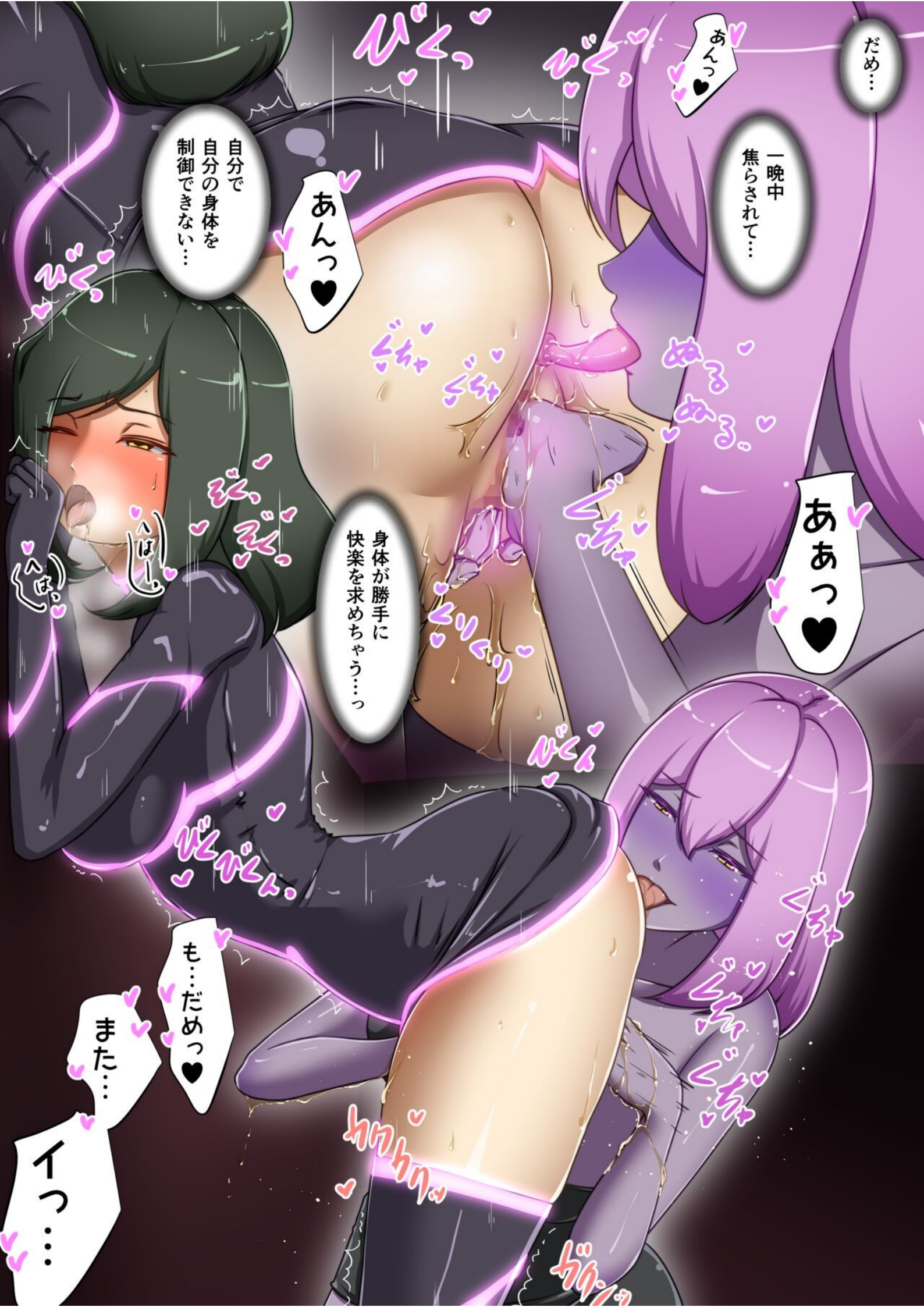

相変わらず…
人を弄ぶ悪知恵と技術だけは長けているのね…
この…変態っ！
あら…
もう既にコスチュームの性能は把握済みのようね…
ということは…
おうちでオナニーしようとしたのね
さすがえっちで聡明な十色ちゃん♥
……っ
ふふっごめんなさい…
一晩中『おあずけ』されて辛いでしょう？
スッキリさせてあげる…♥


ぴちゃ…
つ!?
ぞくぞくぞく
あ……っ♥
性感は遮断されているはずじゃ…
ぐりぐり
ぐりっ
ぴちゃ
何を驚いているの…?
私の能力だもの
私は例外
今の十色ちゃんを気持ちよくできるのは…
私だけ…♥
コスチュームの着脱だって私の意のまま…
しゃわ…

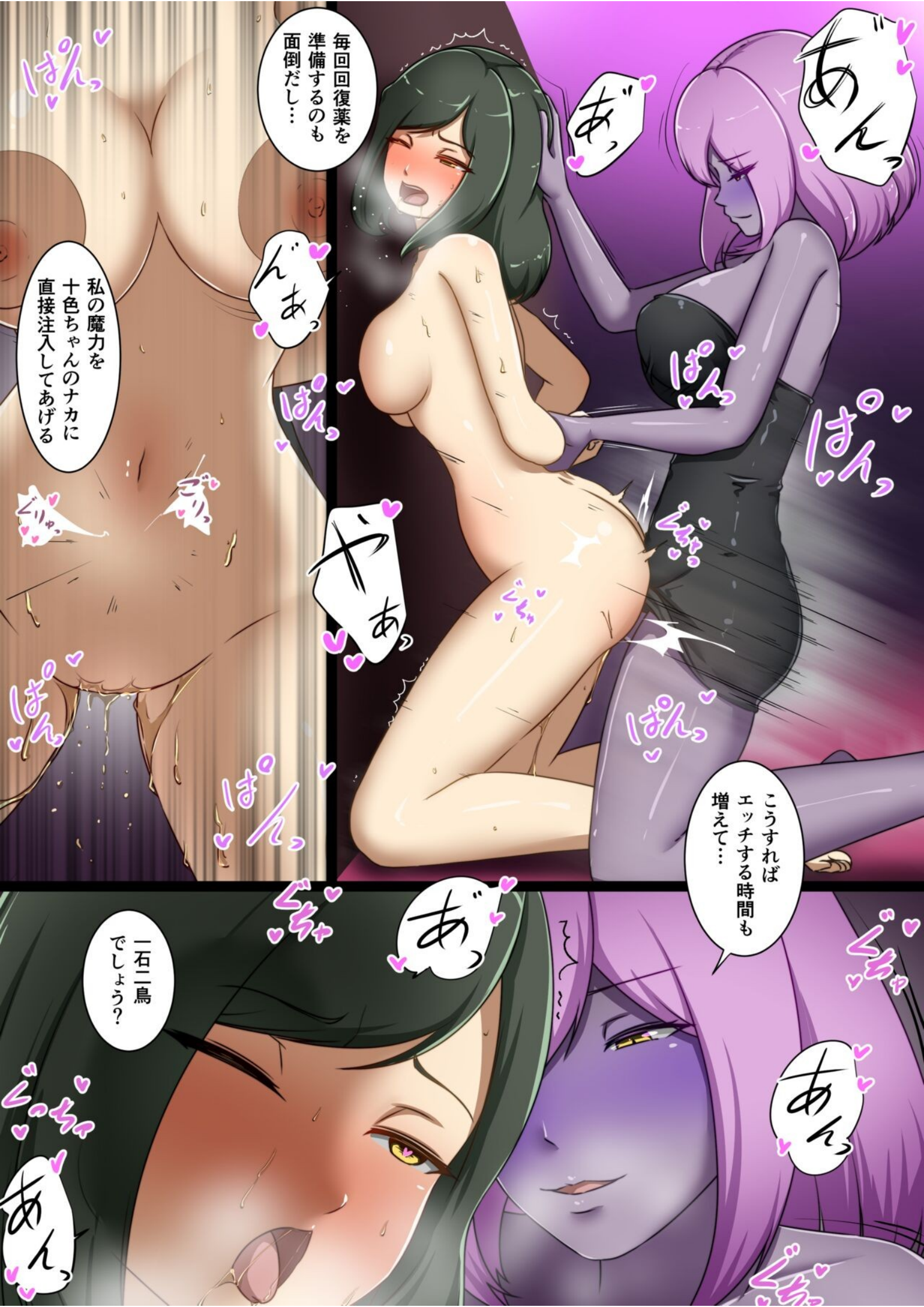

あんっ♥
ぴちゃ
あっ♥
ぴちゃ
あっ♥
ぴちゃ
ぴちゃ
ちゅ〜〜〜〜
あぁ〜っ♥
マズ…い…
やっ…♥
だめ…っ♥
まって…
ぢゅるっ
ぢゅるるっ
ぴちゃ…
ぴちゃっ
ちろちろ
まってぇっ♥
ぴちゃ
ぴちゃ
気持ち…良すぎる♥
ぢゅぞぞぞっ
にゅるる
〜〜〜〜っ♥
ぞくぞくぞくっ


ビクッ
あっ
はぁ…
はぁ…
快楽も
吸われる
魔力の量も
ガクガクッ
普段と
全然違う…
ん…♥
ぐちゅるるるっ
びくびくっ
抵抗力が相当
弱まっている
みたいね…
…というより
ぐいっ
あっ
やっ…
そこだめっ


ぞくぞくっ
んん…っ
ちゅる
ちゅっ
ぴちゃ
ぴちゃ
ごるごるっ
そもそも…
抵抗する気がないみたい…
ぐちゃる
ぐちゃるっ
びくんっ
あひ…っ♥
びくっ
ぴちゃ
あぁ…んっ♥
ガクガクッ
ガヘンッ


だめ…
あんっ♥
一晩中
焦らされて…
あんっ♥
自分で
自分の身体を
制御できない…
あぁっ♥
身体が勝手に
快楽を求めちゃう…っ
へはぁ
へはぁ
も…だめっ♥
また…
イっ…


あぁ
ぷしゃあ…
あらら
ベッドへ行く前に力尽きちゃったわね
ずる…
まぁ
これからたくさん遊べるし…
今日はこれで終わりましょうか
ぶるん。
……っ


毎回回復薬を準備するのも面倒だし…
私の魔力を十色ちゃんのナカに直接注入してあげる
こうすればエッチする時間も増えて…
一石二鳥でしょう？
あんっ
あっ
んあっ
やあっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぐちゃ
ぐちゃ
ぐちゃ
ぐちゃ
ぐちゃ
ぐちゃ
ごりっ
ぐりゅっ
あっ
あんっ
あんっ


あぁぁぁぁ
ビクッビクッ
どくん
どくっ
びゅるる～
『強制変身』
ふふ…
それじゃ…
ビビ…
びくん
びくん
……っ
気をつけて帰ってね…


…何も出来なかった…
ただ犯されに行っただけ…
明日も…
また…♥
はっ
だめだめっ！
何考えてるの！


…っ♥
快楽に流されちゃ…
だめ…っ
ん…っ♥
気を強く…
持たなきゃ…っ
くっ…
うぅ…っ♥
あ…っ♥
この…♥


二日目
あら…
ふら…
ふら…
今日は不意打ちはナシなのね…
素直に私に抱かれに来て…
ぱぁん
調子に乗らないで！
キュオオ
キュオオ
私はあなたなんかに屈しな…
ひうっ♥
ビクンっ
ぎゅ〜
お・そ・い♥

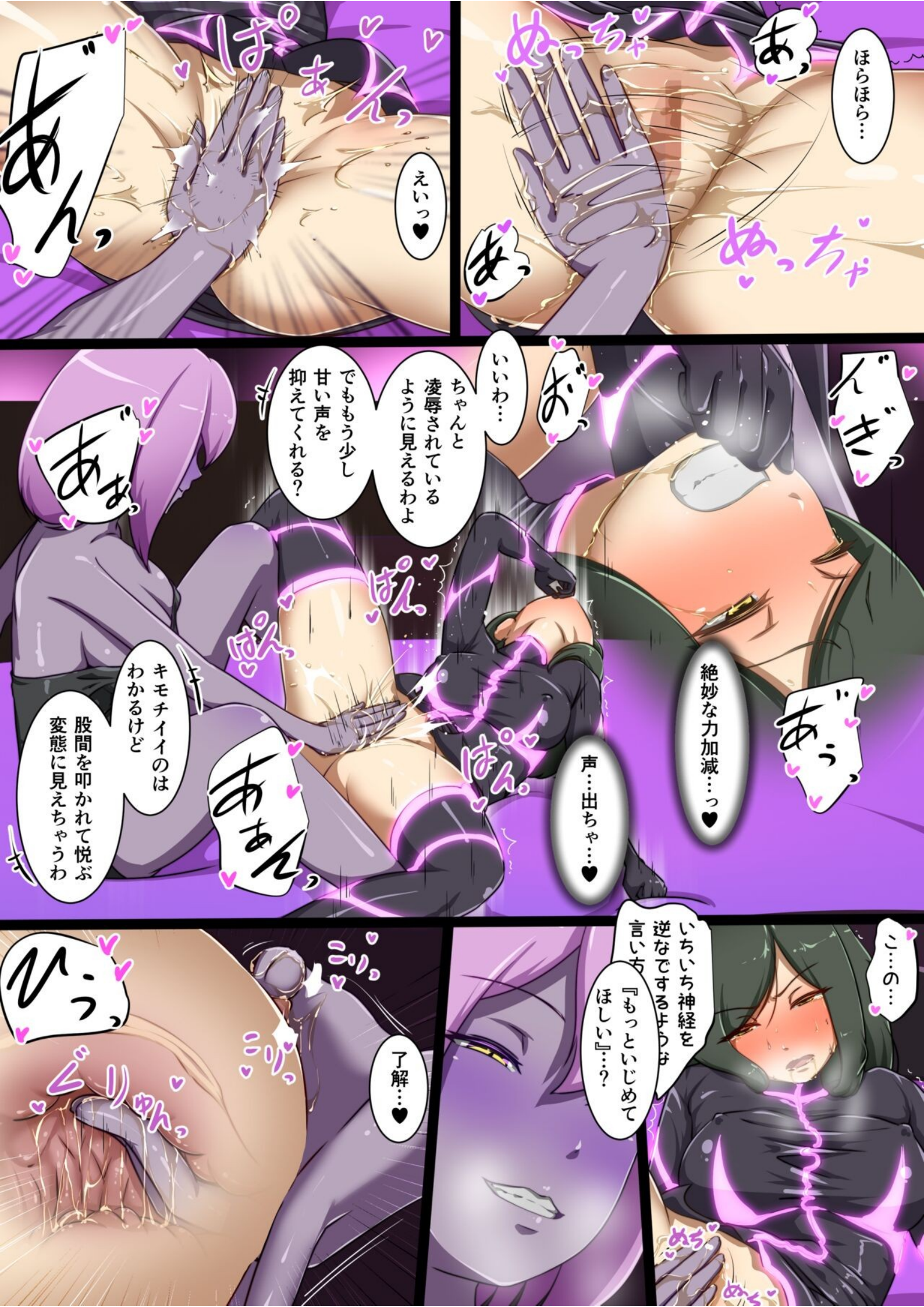

この至近距離でタメ技なんて…
発情し過ぎてまともな判断ができないようね…
ちくび…やめ…っ♥
……っ♥
過度の我慢は身体に悪いわよ？
うる…さいっ♥
はぁ
はぁ
今日こそ…たお…す…
そう…
むぅ…
あくまで戦うつもりなのね…
こりこり
こりこり
びくんっ
びくっ
カクカクッ
ガクッ
それなら…
ほらっ
ぐいっ
ぬぷっ
あぁっ♥
ぐちゃっ


支えていてあげるから…
気が済むまで戦いなさい…
ちょ…っ
やだ…っ
この…っ
んん…っ
ふざけ…な…
あぁ
やっ
そんなっ
掻きまわしちゃ…っ
あっ
イ…くっ

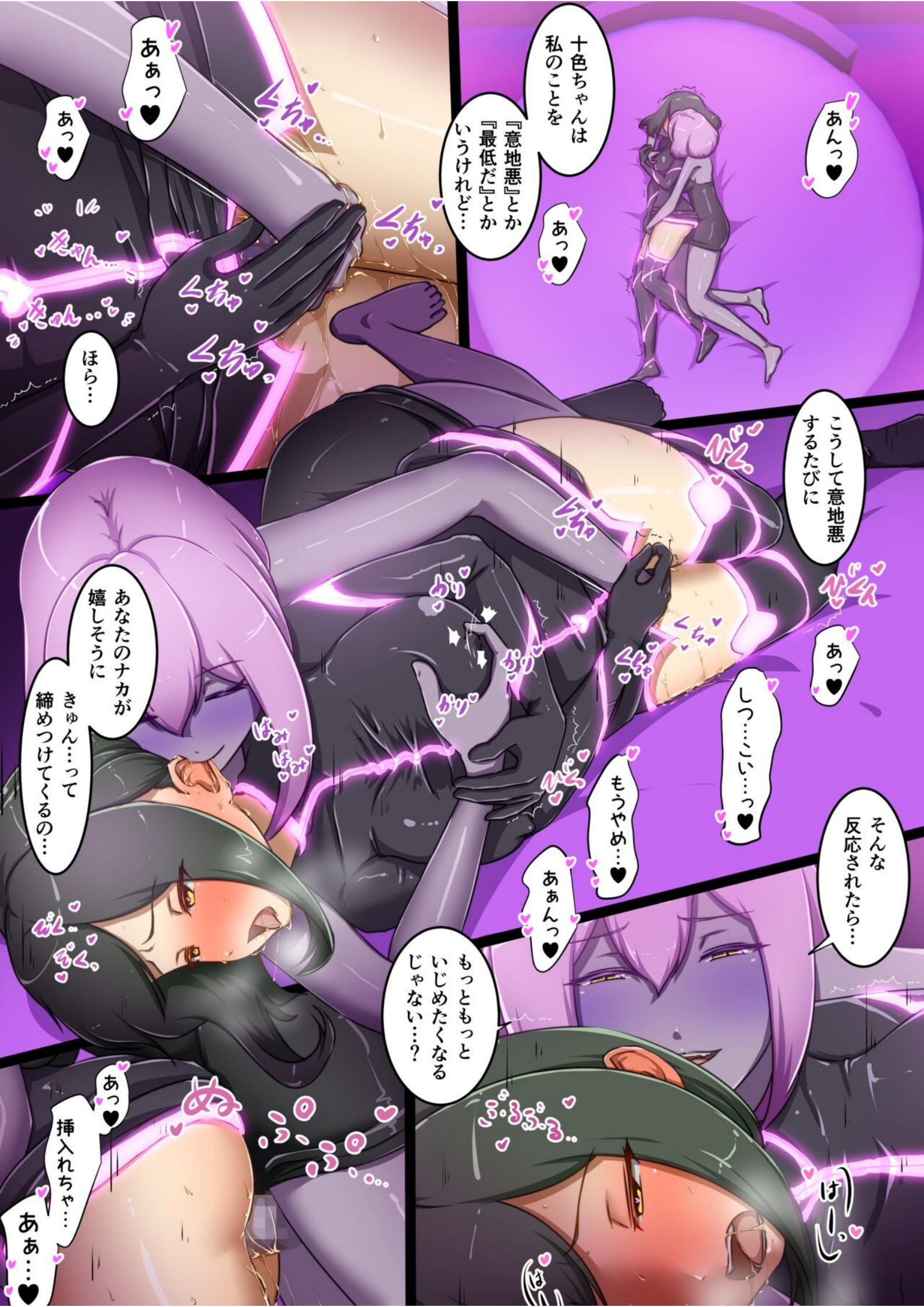

あぁあっ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
びくっ
は～い…
『今回も懸命に戦ったけど…』
びくっ
びくっ
ぱたた…
『負けてしまいました…』
…と
くた…
犯される口実も出来たし…
戦闘はもういいでしょう？
……っ♥
はぁ
はぁ
今日も溜まった性欲…
スッキリさせてあげる…♥


さて…
今日はちゃんとベッドで
ゆっくりじっくり…
ガシ…
ガッ
……？
これ以上は…
許さない…っ！
グッ
…あぁ…！
気が利かなくてごめんなさい…
グいっ
あ…っ
あぁ


『許さなかったら何…?』
『こんな力の入らない身体で何ができるの…?』
『負けたあなたに拒否権はな・い・の…♥』
ふふっ…どうかしら…?
ちゃんと『犯されてる感』を演出しないと…
ドMな十色ちゃんは満足できないものねぇ…
あんっ
あっ
あんっ
くちゅくちゅ
ぐっ
びくんっ
さっきから…
私が自分から…
求めてるみたいな言い方…
やめ…ろぉっ
わ…私は…ぁ
わかってる…♥
正義のヒロインが敵におねだりなんてできないものね…
あっ
あんっ
びくんっ
～～～～っ
あぁっ


ほらほら…
ぬっちゃ
ぬっちゃ
あ
あっ
えいっ♥
ぱんっ
あんっ
いいわ…
ちゃんと
凌辱されている
ように見えるわよ
でももう少し
甘い声を
抑えてくれる？
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
キモチイイのは
わかるけど
股間を叩かれて悦ぶ
変態に見えちゃうわ
あぁんっ
絶妙な力加減…っ♥
声…出ちゃ…♥
こ…の…
いちいち神経を
逆なでするような
言いち
『もっといじめて
ほしい』…？
了解…♥
こりっ
こりっ
ぐりゅんっ
ひっ


あああ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐぐっ
ぐぐっ
ぐぐっ
ぐぐっ
ぐぐっ
反撃も反論もまともにできずにいいようにされて悔しいわね…
その悔しさと快楽の混じった表情…大好きよ…♥
はぁ
はぁ


あんっ♥
十色ちゃんは
私のことを
『意地悪』とか
『最低だ』とか
いうけれど…
あっ♥
こうして意地悪
するたびに
あっ♥
しつ…こい…っ♥
もうやめ…♥
あぁんっ♥
そんな
反応されたら…
もっともっと
いじめたくなる
じゃない…？
あぁっ♥
あっ♥
ほら…
あなたのナカが
嬉しそうに
きゅん…って
締めつけてくるの…
あっ♥
挿入れちゃ…
あぁ…♥


ばちゅん
ぱんっ
ぐっ
十色ちゃんもなんだかんだ言いながら
今の状況を楽しんでいるでしょう？
ぐぐぐ…
びくびく
びくんっ
ぱちゅんっ
んっ
ばちゅん
ぱんっ
ぐっ
不利な条件で戦いを強いられて
この体位…だめっ♥
何もできない上に…
一番弱いトコに当たる…っ♥
ぱちゅん
ばちゅん
ぱちゅん
敗けて…犯されて…
気持ちよくなってる…♥
びくんっ
…っ
ぶるっ
ぶるっ
ぐぐぐ…
ぐぐぐ


安心して…
あなたのお友達や
私の仲間にも
内緒にしてあげるから
それとも…
この痴態を
皆に晒したほうが
イイかしら…？
もう…
ゆるしてぇっ♥


あぁっ
びくんっ
どぴゅっ
ぷるるるっ
ぴゅるるっ
ん…っ♥
ふるるっ
ふふ…っ
今日は
これくらいで
許してあげる…
続きは
また明日…ね♥
びゅるるっ
……っ


3日目
……♥
ガッ
こ…のっ
ガッ
はいチュー♥
ちゅ～
んむ…っ♥
ん～っ♥
がばっ
ぼすっ
んむっ
びくっ
びくんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ばしっ
ばしっ
ん
んんぇ
ちゃん
ぢゅ
ぢゅ…っ
めちゃ
くちゃ
ふふ…っ♥
ご馳走様…♥
ぬちゃ
～～～～っ
びくんっ
…だめだ…
はー
はー
びくっ
びくんっ
びくんっ
びゅるるっ
びゃーっ
びゅっ


4日目
ふふっ…
毎回律儀に反抗するフリをして
く…っ
私の加虐心をくすぐってくれるのね…
すごく燃えるわ…♥
フリじゃな…
あ…♥
ありがと…♥
お礼の寝バック…♥
だめっ♥
この体位はだめなのぉっ♥
あぁそっ
このコスチュームを着ている限り
カディラには敵わない…っ


5日目
ん…♥
十色ちゃんのカラダ…
抱くたびに病みつきになっちゃう…
あんっ
ぱんっ
好き…♥
好き好き…♥
十色ちゃん大好き…♥
へ…
変なコト囁くなぁ…っ♥
はぁ…
毎日こんな濃厚なセックスされたら…
わたし…♥
6日目
なんとかしなきゃ…
7日目
なん…とか…
8日目
9日目…
……


15日目
……っ
さぁ…
今日も
楽しみましょうね
あ…
や…
…やめ…
……
さすがの
十色ちゃんも
連日犯されると
疲労が蓄積するか…
いいわ…
今日はソフトに
いきましょう
……？
十色ちゃんが
壊れたら
悲しいもの…


ん…っ♥
ぴちゃ
あっ♥
れろ～
つー…
ひ…ぁ♥
私の身体…
日ごとに感じやすく
なってる…
…っ
ぴちゃ
ぴちゃ
ん、
たったこれだけの
愛撫でもう…
全身の力が抜けて
何もできない…
はぁ…ん
れろぉ…
さわ…
さわ…
あっ


…っ！
しゃ
や…♥
ちろ…
ぴちゃ…
あっ♥
ぶるぶる…
ん、
んんぇ、
ぴちゃ…
ぴちゃ…
ぴちゃ…
ぴちゃ…
抵抗出来ないのは疲労とか…
コスチュームのせいだけじゃない…
認めたくないけど…
ひぅ…ん♥
ぬる～…
ぢゅるるっ


カディラに抱かれることを
私自身が受け入れ始めてる…
れろ…
れろ…
ぴくっ
はぁ
はぁ
ぴくん
ぼすっ
んあ…っ♥
ぬる〜……
あっ♥
さわ
さわ
やっ…ん♥
ソコは…ぁ♥
あっ♥
ぴくっ
ぴくっ
ふふ…っ
す…
……えっ？


はい
おしまい
!?
おわり…？
これ以上続けると
最後まで
ヤっちゃうからね…
物足りないけど
一日くらい
我慢するわ…
そんな…
じゃ…
今日はもう帰って
身体を休めてね…
くるっ
ここまで
しておいて…っ
……っ
がしっ


ムすっ
なぁに…？
あら…
く……っ
カディラの狙いはわかってる…
カディラの思い通りになるのは…
悔しい…っ
でも…
このまま一日放置されるなんて…
ふぃ
ふぃ
ぎぃぃぃ…
ぢゅく…
だずだず…
だずだず…

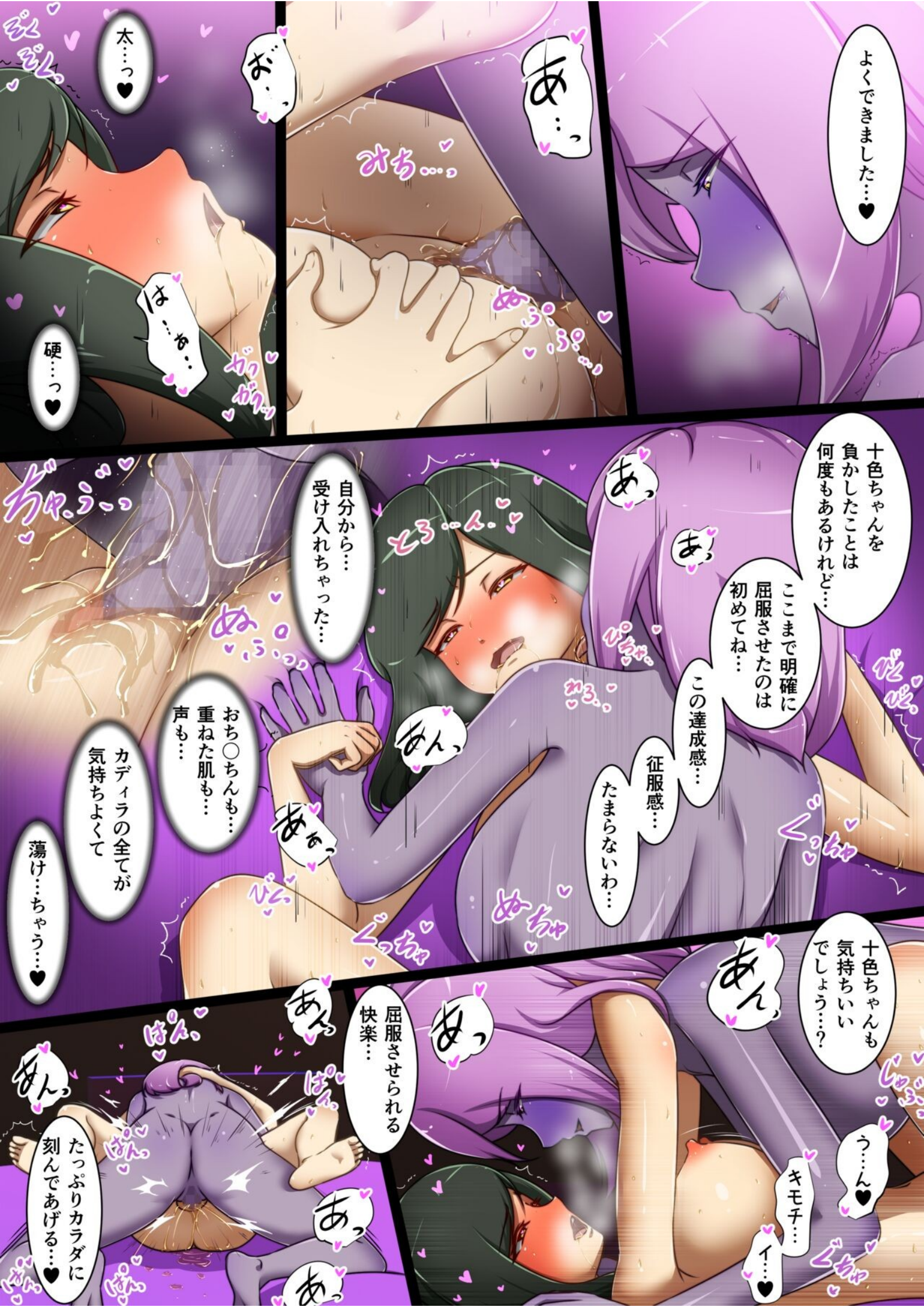

さ…
最後まで…
して…
！
耐えられない…っ
そう…
十色ちゃんが望むなら…
……っ
いくらでも付き合うわ…♥


あ…っ♥
あんっ♥
今まで散々
無理矢理
犯してきたくせに…
ふふ…っ
一生懸命
胸を反らし
ちゃって…
そんなに
おっぱいをいじめて
欲しいの…？
あんっ♥
くぅ…♥
んぁ♥
こっちから求めたら
焦らすなんて…
十色ちゃんの
えっち…♥
ほんと…
…憎たらしい…っ
あっ♥


やっ♥
あっ♥
…完全に弄ばれてる…
腹が立つ…のに…
あぁっ♥
ん…っ♥
悔しいのに…♥
もぉ…
お願い…っ
もう焦らさないでぇ
ふふ…っ
ごめんなさい…
悶える姿が可愛くってつい…♥


あんっ
やっぱりカディラの愛撫…
すご…い♥
あぁっ
私の感じる箇所…責め方…全部把握されてる…
あんっ
ん…♥
濃い愛液…
んんっ
抗わずに受け入れるとこんなに…っ♥
す～ごく感じているのね…
嬉しいわ♥
あぁっ


ふふ…っ
さぁ…
次はどうしてほしい…？
しゅわ…
びく
びく
はぁ…
はぁ…
びくびく
…っ
ぢきっ
自分でおねだりしてみて…
…おち〇ちん…
挿入れて…
ください…♥


よくできました…♥
あ…っ
みち…っ
お…っ
ぬぅ…っ
太…っ♥
ごめんっ
は…ぁ…
ガクッ
硬…っ♥
十色ちゃんを負かしたことは何度もあるけれど…
ここまで明確に屈服させたのは初めてね…
この達成感…
征服感…
たまらないわ…
あっ
あ…
とろ…ん
ぴちゃ
れろ…
ぴくぴく
ぐっちゃ
ぬちゃ
ぐっちゃ
自分から…受け入れちゃった…
ちゃぷっ
ぬぷっ
あんっ
あぁっ
びくっ
おち○ちんも…重ねた肌も…声も…
カディラの全てが気持ちよくて
蕩け…ちゃう…♥
十色ちゃんも気持ちいいでしょう…？
あんっ
じゅぷっ
う…ん♥
キモチ…イ…♥
ぐちゃ
屈服させられる快楽…
あっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
あんっ
あっ
たっぷりカラダに刻んであげる…♥
あっ


んんっ
ビクン
ん…♥
まだまだ…♥
あっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
うんっ♥
もっと…♥
もっとぉ♥
あんっ
あ、
あぁぁっ
…本来の十色ちゃんは…
とても情熱的なセックスをするのね…
すごく…良かったわ…♥
くくくくっ
…あら？
スッキリしたら我に返っちゃった？


ふふ…っ
ぐぐぐっ
今更凄んでも可愛いだけよ…
『今日は流されてしまっただけ…』
『堕とされたわけじゃない…』
確かにそう…
『まだ』…ね
ポゥ…
あと一息…
明日…心まで完全に堕としてあげる…
ぞく…
…っ
今日のえっちを思い返しながら
明日に備えてゆっくり休みなさい…
ぞく…
あぁ…
今日…ついに十色ちゃんが私の手に堕ちるのね…
ふぅ…
嬉しいけど…
少しだけ寂しいような…
ふぅ…
……
ま…
決着を急ぐ必要はないわね
まずは十色ちゃんにご奉仕して貰おうかしら…
～♪


…！
あら…
今日は随分積極的…
っ!?
ぎし…
油断…し過ぎよ…
じゅう…
ナイフ…？
時間をかけて私の魔力を練り込んだ特別製よ
自分が弱体化してしまったなら
それを補う武器があればいい
コレがあれば今の私でも
あなたを倒すことが
無理ね


…え？
ニコッ
ぬる…
スキあり…♥
ぐちゅっ
ぐんっ
あっ♥
しゅるるっ
本気で殺す気なら黙ってさっさと実行しているわ…
こんな無防備な体勢でのんびり説明なんてしない…
ぐんっ
あっ
ぐちゃ
あぁ


策を破られて犯されることを期待していたんでしょう？
あっ
ちがっ…そんなワケ…
そう？
でも…
私がいじりやすいように腰を浮かしてお股を開いているのは
ちがう…
まぎれもない十色ちゃんの意思でしょう…？
ちがうのぉ


そういえば…
ぬちゃ…
しゃあ…
にち…
ずんっ
…あっ
欲求不満による
弱体化のことだけど…
十色ちゃんの身体を
いくら調べても
異常は見られないの…
ずっちゃ
あっ
ぐりぐり
ぐりぐり
ぐりっ
ぐっちゃ
ぐっちゃ
ぐっちゃ
あっ
おっ
原因はおそらく
精神的なもの…
十色ちゃんは
正義のヒロイン
としての使命感と
全てを投げ出して
快楽に溺れたいという
破滅願望のような
矛盾した思いを
同時に
抱えている


あっ
ぎゅ～～♥
ぶる
は…ぁ
その願望は
性欲に比例して
大きくなって…
…っ
ぶるぶる…
は…
は～…
ぐっちゅ
あんっ
ぐっちゅ
あ
十色ちゃんの心に
えっちな破滅願望が
あるかぎり…
あぁ
ぐちゅ
無意識に
力を抑制し
判断を鈍らせる…
ぐっちゅ
ぐっちゅ
十色ちゃんは
私を殺せない…
あああっ
ぐりゅるる～
んっ…な…


でもね…
それは私も同じなの…
あ…っ
十色ちゃんを困らせて怒らせて憎ませて…
そうして歪んだ表情を快楽で蕩けさせたい…
あ…が…
快楽に抗いもがく十色ちゃんをもっと見たい…
お…っ


私は十色ちゃんを堕としたい…
でも…堕ちて欲しくないの
な…によ…
ビチッ
ビチッ
都合のいい仮説を並べて勝手に納得しないで
全て間違いよ…！
私は敗けない…
それ…っ!!
つ!?
堕とされないっ！


絶対やっつけて
やるんだから…っ！
ほら…
また
そうやって…
私を殺す
チャンスを
棒に振る…
どちゅんっ
あっ
ぐるんっ
びくんっ
私との戦いを
終わらせたくない
んでしょう…？
やっぱり私たち
両想いじゃない
あんっ
ぐちゃ
ぐちゃ
ぐちゃ
ちがっ
あっ
ふざけ…な…あ
そそそ
ぎゅ～っ
大好き♥


あ
あぁっ
ぴゅるるるっ


…で
ガラガラ…
もう一押しで堕とせるところを逃がしたんスか？
十色ちゃんも私を殺さないでいてくれた…
ズキ…
ズキン…
あれ以上続けるのは無粋だわ…
それに…
ただえっちして魔力を頂くだけだとたとえ相手が十色ちゃんでもいつかマンネリ化しちゃうわ…
もったいなっ
逃がしたんじゃないわ
引き分けよ…
魔力にありつくまでの過程…
ビシッ…
ビキキ…
ぬる…
ずる…
命がけの駆け引きが最高のスパイスになる…
ぴちゃ…



ね…

十色ちゃん…♥

おしまい
























Limit Break
STATE
欲求不満
STATE
欲求不満
STATE
欲求不満





































































































